

## 質問回答

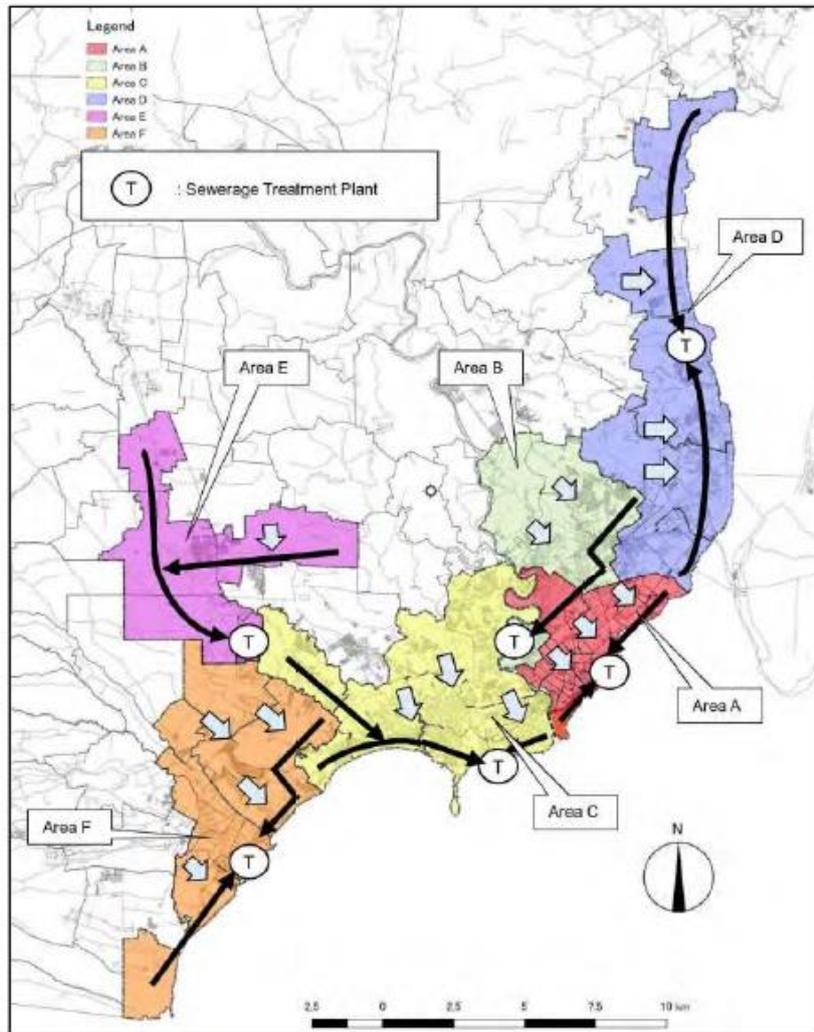
2016年9月18日

【案件名】フィリピン国ダバオ市治水対策マスタープラン策定プロジェクト

(公示日:2018年8月29日/公示番号:180285)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P34 別添1	提案により数量が変わる再委託は外見積にすべきだと思いますがいかがでしょうか？	調査プロセス全体における精度と金額の適切なバランスを踏まえたご提案をお願いしており、提案により数量が増える場合においても見積もりに含めて下さい。
2	P16 5.(2)②内水氾濫対策	「ダバオ川最下流部の中心市街地、左右岸の6排水区」はどこを指しますか？	「フィリピン国ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力向上プロジェクト」最終報告書と文要約編の図(6-3)Area A~Fの6排水区を指します。
3	P24 2-6【洪水対策】土質・地質調査 P34 別添1	【洪水対策】土質・地質調査の実施が指示書にございますが、P34 別添1の再委託には内水対策分の土質調査のみ記載されています。洪水対策分で必要な土質地質調査の数量を示してください。(内見積であるため、確認させていただくものです。)	別添1 現地調査の予定数量を別添1 現地調査の予定数量【差し替え】に改めます。
4	P22 1-12【内水氾濫対策】既存雨水排水対策の評価	セプティックタンクの雨水排水への接続状況の確認の指示がありますが、意図を確認したいので、もう少し詳しいご説明をお願いします。	多くの住民がし尿を処理するためのセプティックタンクを所有しているものの、適正な頻度で汚泥の引き抜きがなされていないと可能性があります。その場合家庭から排出されたし尿がセプティックタンクで十分に処理されずに公共水域に放流されている可能性があり、今後下水道事業の事業化を検討するにあたり、雨水排水に流入している汚水の現状を把握する必要があると考えています。

以上



出典：調査団作成

図 6.3 ダバオ市下水処理システムの整備計画

別添 1 現地調査の予定数量【差し替え】

現地調査の予定数量は以下を目安とするが、各調査段階で求められる精度と調査費用の両方を鑑み、プロポーザルにて提案すること。なお、以下は全調査期間合計の数量であり、受注者コンサルタントは各フェーズ(基礎調査、M/P、F/S)で必要となる調査内容及び調査時期を検討の上、実施すること。

項目	目的	測量範囲
河道平面・縦横断測量	現況流下能力推定及び河道計画策定の基礎資料とする。	1. 縦断測量距離 ダバオ川： 23.0km (Sta. 0+000～23+000) マティナ川： 13.5km (Sta. 0+000～13+500) タロモ川： 11.0km (Sta. 0+000～11+000) 2. 横断測量断面数 ダバオ川： 46 断面 マティナ川： 28 断面 タロモ川： 22 府断面 (横断測量間隔：50m)
河床材料調査	河床変動解析、土砂流量解析の基礎資料とする。	上記河道測量範囲にほぼ1000mに一か所の割合で河床材料サンプルを採取し、室内試験(一般的物理試験)を実施する。サンプル数は以下の通り。 ダバオ川： 23 サンプル マティナ川： 14 サンプル タロモ川： 11 サンプル
地盤高測量(スポット測量)	LiDERデータ及び Ortho-photoマップから得られる地盤高データのキャリブレーション	DOST の LiDER データもしくは NAMRIA Ortho-photo マップの有効範囲内で、水準測量により以下のスポット数に対する地盤高標高を確認する。 ダバオ川流域： 50 スポット マティナ川流域： 10 スポット タロモ川流域： 30 スポット
市内排水路インベントリ調査(現時点ではパブラシオン・アドガオ地区を想定)	現況流下能力推定及び内水排除計画策定の基礎資料とする。	1. 横断測量 対象エリアの 5 排水路、各 5 地点程度、計 25 断面 2. マンホール調査 対象エリアの管きょ区間 5 排水路、各 5 地点程度、計 25 箇所
土質調査	排水機場が想定される地点の土質状況の確認	排水機場が想定される地点(4か所)で以下を実施する。 ボーリング調査： 各 20m 標準貫入試験： 各 1 サンプル サンプル室内試験： 各 4 サンプル(深さ 5m 毎に 1 サンプルを想定) 土質柱状図作成： 各 1 セット

項目	目的	測量範囲
土質調査	洪水対策の優先プロジェクトが想定される地点の土質状況の確認	5断面でそれぞれ以下を実施する。 ボーリング調査：各20m 標準貫入試験：各1サンプル サンプル室内試験：4サンプル(深さ5m毎に1サンプルを想定) 土質柱状図作成：各1セット
汀線測量	海岸の侵食エリア、モンスーン波の影響の著しい箇所およびダバオ川などの河川の河口域における地形を把握し海岸保全計画策定の基礎資料とする。	ダバオ市南部～Coastal Road 始点までの区間： 3次元計測10.0km, 横断測量21断面  Coastal Road 建設区間： 3次元計測12.0km, 横断測量25断面  Coastal Road 終点～ダバオ市北部： ドローンによる3次元計測18.0km, 横断測量37断面 横断測量は500m間隔 なお、各測線の汀線部、高潮位部及び底潮位部において底質を採取しスケールをあてて写真撮影を行う。
深淺測量	海岸の侵食エリア、モンスーン波の影響の著しい箇所およびダバオ川などの河川の河口域における海底地形を把握し海岸保全計画策定の基礎資料とする。	ダバオ市南部～Coastal Road 始点までの区間： 深淺測量21断面  Coastal Road 建設区間： 深淺測量25断面  Coastal Road 終点～ダバオ市北部： 深淺測量37断面 深淺測量は汀線測量と同じ測線とし500m間隔、測線長250m